

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2025. 07第110号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

あと少しで夏休み期間ですね。みなさんはこの夏にしたいことを何か見つけましたか？

図書館では今年も『夏休み特別企画』を開催します！「なるほど地図教室」、「わくわくサイエンス教室」、「藍の葉っぱで図書館バッグをつくろう！」の3つです。申込期間は7/12(土)から7/21(月・祝)まで！詳細はポスターやHPなどをご覧ください。みなさんのご応募お待ちしております！※対象は市内在住者です



7月のイベントカレンダー



<https://www.library-mizuho-gifu.jp>

日	月	火	水	木	金	土
■ 本館 開館時間 ■ 7/23～8/31 9:00～18:00 ※分館は通常通り 10:00～18:00 です		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 ＜本館＞ 未就園児向け おはなしの会	12 ＜分館＞ おはなしの会
13	14 休館日	15	16	17	18	19 ＜分館＞ おはなしの会
20	21	22 休館日	23	24 夏休み企画 当選発表	25 ＜分館＞ 未就園児向け おはなしの会	26 ＜分館＞ おはなしの会
27	28 休館日	29	30	31 休館日		
「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「映画鑑賞会」		【分 館】 毎週土曜日 14：30～ 絵本フロア 【本 館】 第2金曜日 10：30～ おはなし室 【分 館】 第4金曜日 10：30～ 絵本フロア 【本 館】 9/21、11/16、3/15 10：30～ 2階・学習室 定員20名				



新刊PICKUP！

一般 ・ 児童



『言葉にならない気持ち日記』

＜914.6/ウ＞

梅田 悟司 // 著 サンクチュアリ出版

新感覚！？複雑な感情を観察したエッセイ。ふたりで会う予定だったのに、知らない人がいる。忙しい時に限って、プリンターの紙が詰まる。スーパーのレジで、自分の列だけ進みが遅い。など、誰もが経験したことをよく観察してあり、思わずうなずいてしまい、もやもやがスッキリすること間違いなし！



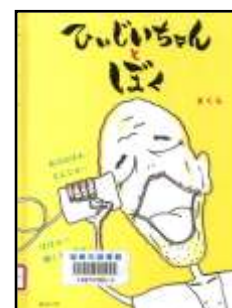
『コーリヤと少年探偵団』

＜児/913/ヤ＞

柳 広司 // 作 理論社

13歳の少年コーリヤは、近所の変わり者フォードル・カラマーゾフが殺害され、大金が盗まれた事件に遭遇する。フォードルと不仲だった長男ドミートリーに容疑がかかる中、コーリヤは少年探偵団を結成し……。本書は、ドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』を、少年コーリヤの視点から描いた物語です。

※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『ひいじいちゃんとおぼく』

＜E/サ＞

さくら // 作 星雲社

三世代にわたって読める、心あたたまる絵本。ほとんどベッドに横になっている101歳のひいじいちゃんと、9歳のぼくのほっこりする会話。ぼくはひいじいちゃんのみているふしぎな世界にとっても興味をもつが、分かるようで分からない。もっと知りたいけど、やはり、101歳になってみないと分からない世界があるのかも。



『おばけのルルンとよるのどうぶつえん』

＜E/オ＞

大木 あきこ // 作 国土社

ある日の夕方、おばけのルルンがおうちで本を読んでいると、外で鳥たちが「よるのどうぶつえんが始まっちゃうよ!」と騒いでいるのが聞こえます。ルルンはスイ〜っと飛んで、動物園へやってきました。楽しくすごしていたけど、どうやら困っている人がいるみたいで……。やさしいおばけのお話です。

本館 テーマブック

歌舞伎、狂言、文楽、演劇、ミュージカル、オペラ、バレエ・・・
舞台上で上映される作品はいろいろあります。そこで今月は“観劇”に関する本を集めました。時には日常を忘れて舞台に没頭する時間があってもいいですね。

『あらしのよるに』〈E/A〉講談社
きむら ゆういち//作 あべ 弘士//絵



嵐の夜、真っ暗な小屋で出会ったオオカミとヤギ。互いの顔が見えない中おしゃべりが始まって…。あの絵本が歌舞伎になりました。

『楽しいバレエ図鑑』〈769.9/タ〉
小学館



バレエを見るときに役立つ歴史、知識、代表的な作品、ダンサーの練習風景などを写真とともに解説。バレエの裏側がのぞける1冊です。

今月のテーマ
『観劇のススメ』

『仏果を得ず』〈913.6/ミ〉
三浦 しをん//著 双葉社



ある日、健は師匠から、変り者と噂される三味線の兎一郎と組むように言われて…。文楽に賭ける若手大夫の熱い青春の物語です。

『世界で一番美しい劇場』〈771/セ〉
エクスナレッジ



世界の美しい劇場を「オペラハウス」・「シアター」・「コンサートホール」に分け豊富な写真で紹介。まるで絵画のように美しい劇場をご覧ください。

分館 テーマブック

『なんだこれは』 〈E/ヨ〉



やまは、そろそろ夏です。いろんな虫がいそうです。葉っぱのむこうになにかいる！なんだこれは？「ブーン」なんだこの音は？目で見る、音を聞く、においをかぐ、さわってみる、カンをはたらかせる…いろいろな感覚を使って虫をみつけてみよう！この本に出てくる生きもの図鑑もついています。さあ虫とりのでかけよう！

横山 寛多//著 偕成社

今月のテーマ
『夏の本・七夕の本』



リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け おすすめの本



『ぼくへのレファレンス』 〈児/913/イ〉

岩崎 まさえ//作 国土社

リョウには夏休みの予定がない。再就職したばかりの父さんが忙しいからだ。図書館での職場体験で、謎の少年から不思議な形の記号に関するレファレンスを受ける。そして、現地調査にむかうことに……。江戸時代の古文書を図書館の貴重書庫でみてから、リョウのまわりで不思議なことがおこり、つまらなかった夏休みがドキドキの夏休みに！



『名探偵と学ぶミステリ』

推理小説アンソロジー&ガイド』〈913.6/メ〉

杉江 松恋//編著 早川書房

皆さん、ミステリは好きですか？近年では、最後の展開がよめない「どんでん返し」もののミステリ作品が盛り上がっていますね。本書では、ミステリ入門ガイドや、現役日本人作家7名による海外ミステリのオマージュ作品を楽しむことができます。次に読む本の参考にいかがですか？



今年の7月19日と31日は土用の丑の日です。日本では夏の土用の丑の日にウナギを食べる風習がありますね。絶滅の恐れがあるとされていますが、食卓に並べば心が躍ります。日本人にこよなく愛されるウナギ、おいしさ以外のウナギ事情に目をむけてみてはいかがでしょうかでしょう。



『結局、ウナギは食べていいのか問題』
海部 健三//著
岩波書店〈664.6/カ〉



『ウナギと日本人』
筒井 功//著
河出書房新社〈664.6/ツ〉



『ふしぎだらけのウナギ』
黒木 真理//監修
岩崎書店〈664.6/フ〉

